

第7章 宇野線（茶屋町～宇野）

第1節 旅プラン

○7月29日（水）曇り

ひかり 639号（12号車2番E席） 新横浜 10:51 → 京都 13:12

きのさき 7号（2号車2番D席） 京都 13:25 → 城崎温泉 15:50

城崎温泉泊（しののめ荘：0796-32-2411:23号室）

○7月30日（木）晴れ

城崎温泉～竹野～佐津～柴山～香住（営業キロ 22 km:万歩計 44,538 歩）

香住 16:46 → 浜坂 17:11

浜坂 17:19 → 鳥取 18:10

鳥取泊（鳥取駅南口東横イン：0857-36-1045:709号室）

○7月31日（金）曇り／晴れ

鳥取 5:26 → 赤碕 6:47

赤碕～八橋～浦安～由良～下北条～倉吉～松崎～泊（32.4 km:60,194 歩）

泊 16:41 → 鳥取 17:20

鳥取泊

○8月1日（土）晴れ

鳥取 8:04 → 泊 9:06

泊～青谷～浜村～宝木～末恒～鳥取大学前～湖山～鳥取（28.6 km:67,719 歩）

鳥取泊

○8月2日(日) 晴れ

鳥取 5:26 → 赤碕 6:47

赤碕～中山口～下市～御来屋～名和～大山口～淀市～伯耆大山～東山公園～米子 (31.7 km:51,864 歩)

米子泊 (米子駅前東横イン:0859-36-1045:1301 号室)

○8月3日(月) 晴れ

米子～安来～荒島～揖屋(いや)～東松江～松江 (28.9 km:50,334 歩)

松江泊 (松江駅前東横イン:0852-60-1045:1109 号室)

○8月4日(火) 晴れ

松江～乃木～玉造温泉～来待～宍道～荘原～直江～出雲市 (32.7 km:57,456 歩)

出雲泊 (出雲市駅前東横イン:0853-24-1044:301 号室)

○8月5日(水) 晴れ

立久恵狭、出雲大社、宍道湖(遊覧船)の観光など

出雲泊

○8月6日(木) 晴れ

スーパーおき1号(1号車8番D席) 出雲市6:49 → 益田8:52 → 新山口10:39

さくら546(4号車10番D席) 新山口11:19 → 岡山12:37

マリンライナー31号 岡山12:42 → 茶屋町12:55

茶屋町13:11 → 宇野13:34

宇野線:宇野～備前田井～八浜～常山～迫川～備前片岡
～彦崎～茶屋町 (17.9 km:39,438 歩)

マリンライナー56号 茶屋町19:19 → 岡山19:53

岡山泊 (東横イン岡山駅東口:086-224-1045:1003 号室)



○8月7日（金） 晴れ

岡山 7:21 → 播州赤穂 8:37

赤穂線： 播州赤穂～坂越～西相生～相生（10.5 km:26, 220 歩）

ひかり 510 号（12 号車 10 番 E 席） 相生 12:53 → 新横浜 16:24

第2節 8月6日（木）：宇野～茶屋町 晴れ

宇野(13:54)～備前田井(14:34)～八浜(16:01)～常山(16:52)～

迫川(はざがわ、17:15)～備前片岡(17:45)～彦崎(18:29)～茶屋町(19:17)

2020年8月6日（木）晴れ、山陰本線の旅の第9弾は、主としてスーパーおきと新幹線を活用し、宇野駅まで移動し、そこから宇野線の営業キロ 17.9 km に挑戦する。出雲市駅発が6時49分であったので、ホテルでの朝食は割愛し、特急内でとる。



※東横イン、出雲市駅



※出雲市界隈の鉄道網、木次線、鳥取方面の列車

車窓から将来の歩き鉄を想定し、田儀、浜田、益田、津和野、山口、湯田温泉、新山口など各駅舎に繋がる道筋を傍観する。浜田駅には東横インがあるのを確認する。将来、出雲市から益田の踏破の際、浜田駅が軸になるだろうと考えているうちに、新山口駅に到着。



※田儀駅、益田駅、スーパーおき1号の車両



※復路に乗車券・特急券、山口駅、湯田温泉駅

新山口駅からは茶屋町駅までは、既に歩き鉄で踏破した区間であったので、踏破で色々汗を流した区間が登場し懐かしくなる。宇野駅には13時34分到着する。昭和60年の瀬戸大橋線開通（岡山～茶屋町～児島～坂出～高松）までは、岡山から宇野までは宇野線を活用、そこから宇高連絡船を活用し高松まで、毎年盆正月を中心に移動していた。それが、瀬戸大橋線の開通に伴い、宇野線は茶屋町から宇野までと縮小されると同時に、宇高連絡船は廃止となった。今でも連絡船うどんの味は忘れない。それ故、宇野駅への足の踏み入れは、35年振りとなる。



※新山口駅、新幹線入線、茶屋町駅

宇野駅からの各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

宇野（13:54）～備前田井（14:34）～八浜（16:01）～常山（16:52）～迫川（はざかわ、17:15）～備前片岡（17:45）～彦崎（18:26）～茶屋町（19:17）



※宇野駅



※宇野駅

①宇野駅は、連絡船経由駅のため、途中下車の経験は少ない。しかし、遠い昔、玉野市在住の友人がいた関係で数度宇野駅に立ち寄った記憶が蘇る。懐かしい限りである。宇野港を20分位散策し、備前田井駅を目指す。この駅は坂を上った先にあった。沢山の高校生の姿を目にする。



※宇野港散策



※宇野駅界限



※備前田井駅

②八浜駅への道筋は、水田地帯経由と山越え経由（国道30号線活用）があった。安全を期し後者を選択したため、2 km位鉄道に沿って戻る区間が生じる。このため、30分位所要時間が多くなる。14時39分、JR線下を潜る。傘をさし、山道を淡々と歩く。八浜駅に引き返す分岐点まで遠かった。地元の人々の応援を得て、やっと八浜駅に到着できる。



※山道を歩く、八幡神社



※八浜駅

③30分位先程来た路筋を歩く。15時45分、JR線を見つけ、鉄道の左側を歩く。その先に常山駅（16時52分）がある。そして、鉄道に沿って暫く歩いた先に迫川駅（17時15分）があった。17時36分、日比街道踏切を横切って鉄道の右側となる。鉄道に沿って淡々と歩いた先に備前片岡駅、彦崎駅があった。



※常山駅



※迫川駅



※備前片岡駅



※彦崎駅

④彦崎駅から茶屋町への道筋は、山や川があり、大きく迂回しての歩きとなる。第六感で茶屋町駅への道筋を発見する。途中、民家に立ち寄り、茶屋町駅への道筋を確認する。

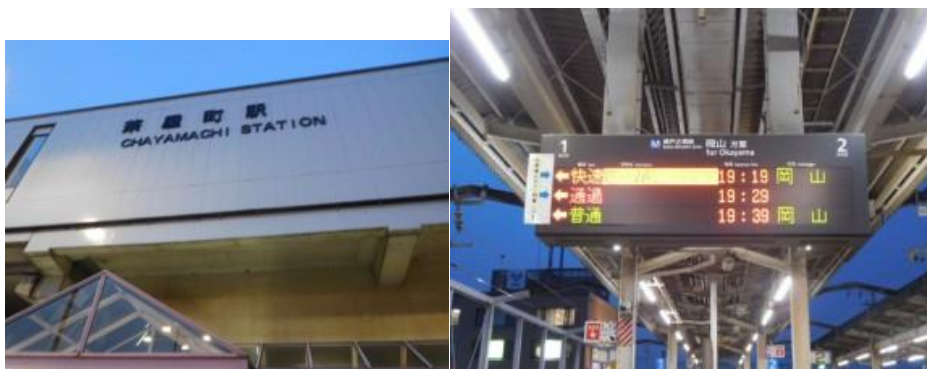
「お宮のところを右折し、直進したところでJR線路にぶつかります。そこを鉄道に沿って歩いた先に茶屋町駅があります。」の説明を受けホットする。ご指示頂いた通りに歩き、茶屋町駅には19時17分到着。ラッキーにも2分の待ち合わせで岡山行きのマリンライナー56号に間に合う。



※新稔橋、茶屋町駅への路



※茶屋町駅への路



※茶屋町駅

④岡山駅から東横イン岡山駅東口を探すのに右往左往する。東口東横インは商店街に隠れて、岡山駅からビルが発見できず。20時、地元の方の応援をやってホテルに到着できる。ホテルで汗を流した後、誤ってホテルで紹介された飲み屋街路筋と異なる方向に進む。それ故、本日はラーメン店での夕食となり、閉幕となる。



※東横イン、ラーメン店で祝杯！！

第3節 8月7日（金）：赤穂線（播州赤穂～相生）

赤穂線のため割愛

第4節 まとめ

2020年7月29日（水）～8月7日（金）の山陰本線踏破を軸とする旅は、コロナや熱中症と悪環境にも関わらず、色んな収穫があった。

ひとつは、鳥取・島根が「全国鉄道つたい歩き」に加わったので、残る県は長崎県のみとなった。また、今回の歩きを通じ、早くも本年の通算営業キロは **762.7 km（歩き日数 32 日）** となり、暦年単位において2001年達した最長記録である677.4 km（歩き日数32日）を更新した。悪環境の中、嬉しい限りだ。

二つ目は、山陰本線の軸と思われる、鳥取～出雲市までを「歩き鉄」にて踏破をした。同時に、京都から益田までの「乗り鉄」を通じ、山陰本線の骨格が臍気に掌握できた。さらに、青森～新潟～金沢～鳥取～下関の日本海側総営業キロ（1,617.2 km）のうち、今回の歩きを通じ **755.9 km（46.7%）** を踏破することができた。

三つ目は、観光面でもフコク生命の友人のご尽力を得て、出雲・松江と実りある観光ができた。また、城崎温泉では名物の外湯を体験した。偶然にも、前回の秋田・山形の旅と今回の旅を通じ、砂の器に登場した”羽後亀田駅”（羽越本線）と”亀嵩駅”（木次線）と遭遇した。

四つ目は、日本鉄道網の素晴らしさを肌身で感じた。また、美しい日本どこにいても住めば都、人類皆兄弟などなどを感じる旅でもあった。

最後は、囲碁や将棋の対戦記録があるように、また、カッシー館の「こだわり鉄道つたい歩き」にあるように、歩きにおいても記録の大切さを一層強く感じた。記録はある意味では財産と認識。また、記録なしでは第三者への発信ができない。

特に、ご来館頂いている方に[臨場感](#)を味わって頂くために、カッシー館への投稿には、これからも一層の創意工夫と鋭意努力で臨みます。引き続きご愛好宜しくお願い申し上げます。完